

# つくしの家だより

HP アドレス <http://ichiyokai.sakura.ne.jp/>

No. 115 2025. 12. 1

〒421-0522  
静岡県牧之原市相良 240-1  
(児童発達支援)  
つくしの家  
(生活介護事業所)  
つくしホーム  
☎ 0548-52-2225  
事務局 52-0825  
FAX 52-1156  
e-mail:tsukushihome@  
aioros.ocn.ne.jp



## ひとつの命...

栗林 均

今年も残り一か月を切りました。最近、すごく冷え込みますが、空気がとても澄んでいるので夜空の星がとてもキラキラと輝いています。今年九月十三日に理事長兼つくしの家園長が逝去しました。毎月発行のつくしの家園だよりの最後の文章を今回の家だよりに掲載させていただきます。

最近、「保護犬」「保護猫」またそのような小さな命を支えるための「動物の里親さん」というような言葉をよく耳にします。人に捨てられ虐待された小動物たちを保護するテレビ番組では、引き取られて最初は人を恐れ、警戒していた彼らが、少しずつ心を開いていく様子が映し出されていました。私は現在、猫が一匹家にいますが、以前は犬を飼っていたことがあります。テレビを見ながら、二十五年前のこの園だより「平成十二年九月号」に書かせていただいた文章をふと思い出しました。こんな文章でした。

『私ごとで恐縮ですが、夏休みの終わりにひとつの別れがありました。家で飼っていた犬が、その一生を終えました。名前は「のんき」。のんきとの出会いは十五年前の七月でした。にじ組さんの子ども達と、つくしの前にある海水浴場の松林にお散歩に行った時、まだちっちゃな二匹の小犬が捨てられていました。子ども達が松林の木陰で休んでいると、ちよこちよこみんなの所に近寄って来ました。その時はそのままつくしに戻ったのですが、どうしても気になって、夕方もう一度松林に行ってみると、やっぱりまだ小犬はそこにいました。おなかも空いているようでした。訪問教育でつくしに来て下さっていた養護学校（現在の特別支

援学校）の先生と相談して一匹は私、もう一匹はその先生が連れて行ってくれることになりました。こうしてのんきは我が家の一員になりました。元氣いっぱいなのんき、小さくてまだ首輪もできません。駐車場の奥に二畳ほどの畳が敷いてある場所があったので、そこに布団を運び、私ものんきと一緒に寝ることにしました。朝、牛乳をあげて仕事に行こうとすると、ずっと追いかけてきて悲しそうに哭くので、駐車場の入り口に板を立て掛け、その中で待つてもらうことにしました。仕事から帰ってくると板を外してお散歩です。今は埋め立てられ工場が建っていますが、当時は家の前は全部田んぼで、のんきはそのあぜ道を本当に自由に走りまわりました。そして「のんきー！」と呼んで、私が走って帰ろうとする素振りを見せると、向こうの方から必死な顔をして追いかけて来るのです。とっても楽しいひとときでした。夜、一緒に寝ていると、急に私のおなかのあたりがなま温かくなつて（おねしょです）、飛び起きたこともありました。そんなのんきも少し大きくなったので、玄関が見える畑の一角に小屋を作つてそこに住むようになりました。でものんきは小屋に入るとせず、昼間のほとんどを小屋の屋根の上に乗って過ごしていました。誰か知らない人が玄関に来ると、屋根の上から見つけて威勢よく吠えました。祖母は家からかなり離れたお茶畑で仕事をしても、のんきの声で家に誰かが来たことがわかったと言います。夜、私が仕事から帰

つて来ると、車が表の道から入って来るよりも先に哭きはじめます。そして大好きなお散歩の時以外は、やっぱり小屋には入ろうとせず、今度小屋の前の地面に穴を掘ってそこに居ました。亡くなる前に獣医さんがこんな話をしてくれました。「自分分を番犬だと思っている犬は、小屋入ってしまったら誰か来ても見えないから、どうしても外で寝るんですよ。それを自分の仕事だと思っているんですよ。」……と。



元氣だったのんきも三年程前に、フェラリア（蚊によって広がる感染症）にかかってしまい何度か病院のお世話になりました。お医者さんが不思議に思う程、その度に回復したのんきでしたが、この夏の暑さはかなりきつかったようです。食事もう喉を通らず、氷を浮かべた水を手に乗

せてくくめてあげても、弱々しくなめるだけです。大好きだったアイスもすいかもなめるだけです。パンを牛乳に浸して口に入れようと入っていきません。それでも横になろうとせず、フラフラしながらも必死に立っているのです。食べなくなつて二日目、そんな状態でもまだ散歩に行きたそうなのんきと、ゆっくりゆっくり家の前まで歩きました。そして玄関のところで足を止めたのんきは、小屋の方には戻ろうとはせず、あの自分が育った駐車場に向かってあげ、そこに紐を結びました。次の日の昼、のんきが立ち上がれなくなつたとの電話で家に戻ると、もう呼吸はかなり苦しそうでした。首輪も外してあげました。そして一時間後、最後に大きくひとつ息をしてのんきは旅立ちました。初めて家に来た十五年前とまったく同じ場所でした。私の二人の子ども達は、私が戻るまで、ずっとうちわでのんきをおおいでくれていたそうです。

その夜、駐車場で横になったのんきの隣にテーブルと椅子を並べ、のんきの小さかった頃の写真をみんなで見ました。中学生になって流行の言葉が時々ぼろりと出るようになってきたお姉ちゃんと、ゲームに夢中話しかけるとちよっぴり照れくさそうになった息子、のんきの傍らで本当に久しぶりにたくさん話をしたように思いました。バーチャルなゲームで人が簡単に倒されたり、死んでしまったり、少年達の悲しい事件も多く報道された八月でした。小さな

ひとつの命に触れ、何かとても大切なひとときが与えられたような気がした夏の終わりでした。『…、こんな懐かしい文章を思い出しました。子ども達の詩集の中にこんな詩がありました。』

おかあちゃんは今も いつも

私をおこる。おかあちゃんは今も私なんてきらいなんだと思った。

この間 テレビのニュースで生活がたいへんだといつて生まれたばかりの赤ん坊をすてた親の話をきいておかあちゃんは今も

「二人そだてんのも 三人そだてんのもおんなじだっぺなあ。」といった。

私は、ひとりになみだが出た。

のんきはあの日、にじ組さんでお散歩に行かなければ出会うことはありませんでした。もう一度夕方見に行つてそこにいなければ一緒に家に来ることありませんでした。家に来て、いっぱい遊んでじゃれ合つて、大好きなお散歩に何度も行つて、ご飯を食べて、気がつけばペットでも犬でもなく、家族の一員になっていたました。そして、自分の役割りを番犬として選び、この家を守ってくれました。十五年という年月と一緒に過ごして、初めて来た時とまったく同じ場所から旅立っていきました。改めてもう一度、命、生きていくことの大切さを思つた夏の終わりでした。



さあ、今度は、みんなで秋に向かって元氣に出発ですね……。

九月以降、園長の大好きだった子どもたちの明るい笑顔に支えられながら、職員一同つくしの家があたかな場所になるよう力を合わせています。

今後とも、社会福祉法人一羊会へのご支援をよろしくお願い致します。

# 少しずつ前を向いて

増田 隆

普段は穏やかな相良の海に、白波が立つ日が増えてきました。日を重ねるごとに短くなる日照時間と反対に、影は長くなってきています。

北風が吹きつける寒い冬も、せみ時雨が降り注ぐ暑い夏も、毎日誰よりも早くつくしに来て、敷地の中をほうきで履いてくれていた栗林理事長の姿が見られないのは、とてもさみしくて残念な思いです。

今から三十年以上前、私がつくしホーム（当時はつくし作業所）に入職した日、つくしの家の職員室から明るい笑顔の職員さんが「こんにちわ」と声を掛けてくれました。それが栗林理事長との最初の出会いです。あの時の笑顔は、私の心にはつきりと残っています。三つ年上の良き先輩ができたことが、とても嬉しかったことを覚えています。療育の事だけでなく、ギター演奏やキャンプなど共通の話題があり、学生時代への思い出等、いろんなことを話したり、相談しました。今のつくし東館がまだ車庫だった頃、コンクリートの上に並んで腰を下ろし、「この場所が新しい建物になるのなら、その一角を喫茶コーナーにして、つくし

しホームの利用者さんたちが交代でコーヒーを入れてくれて、そこに職員や地域の方々も集まる所ができたらいいなと思ってるんです」と私が話しかけると、「いいね」と言いながらにこにこしてくれた横顔を忘れられません。一緒にキャンプに出かけて、夜が更けるまでギターを弾きながら二人で一緒に歌ったことも心から離れません。

時に優しく、時に厳しく指導していただき、誰にも分け隔てなく広い心で接して下さり、気遣いを絶やさない方でした。みんなに穏やかな心で語りかけ、やさしい表情で声をかけてくれました。未だ信じられないというのが正直な気持ちです。

数え切れない程の思い出は尽きず、これからもその姿をつい探してしまふことですが、栗林理事長の志を忘れないように、あの笑顔をずっと心にとどめておきたいと思っています。

すでに毎日のように報道され、皆様ご存じの事と思いますが、九月五日、牧之原市内では台風十五号による国内最大級の竜巻が発生しました。幸いつくしホームでは大きな被害はありませんでしたが、あの時間帯は突然雨が激しくなり、暴風が吹き荒れてきて、利用者さん達もとても不安そうな表情でした。ようやく風雨

が収まった後、やれやれと思いながら、被災状況ながら被害状況を確認している、市内の細江地区で屋根が吹き飛ばされるような被害が発生して、国道では停電により信号機も作動しておらず、トラックも横転している、との情報が入りました。次々と明らかになる被害の広がりは、想像を超えたものとなり、とても現実の出来事として受け止められず、ニュース映像に映る情景は、あの見慣れたのどかな街であるとはとても思えません。別法人の事業所でも、竜巻による強風に飛ばされた瓦などが建物や駐車中の車の窓ガラスに当たり、全部割れてしまった、飛んできたガラスの破片が利用者さんに当たってけがをしてしまったそうです。

通行が規制されていた道路がようやく開通し、初めてそこを通った時、実際にこの目で見た風景に涙が溢れてしまいました。つくしホームの利用者さんの中には、自宅や車に被害が生じた方もいらっしゃると思います。ご自宅に戻る事が出来ず、急な環境の変化に対応できずにいる方もいました。しかし、発災後すぐに牧之原市社会福祉課や相談員さんが連携をとって下さり、市内の法人様の障害者支援施設で緊急でも短期入所を受け入れてくれる事となり、本人もご家族も安心できるようになったケース



もありました。また、発災後すぐに、いくつかの事業者やボランティアさん等から「つくしホームは大丈夫ですか？」と電話をいただきました。皆様の温かなお気持ちに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

連日片づけを続けていらっしゃる方から、いつまでかかるのか全く見通しが立たない現実を嘆く声も聞かれます。今この時も、復興に取り組んでいらっしゃる方々がいます。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、安心して過ごせる日が少しでも早く来ることを心より願っております。

今年は、つくしにとっても牧之原市にとっても忘れられない出来事が続きました。あと数日で訪れる新たな年が、笑顔で満たされるような一年となりますように心より祈っています。

（つくしホーム施設長）

# 「たのしいつくし」 庄司秀子

♪あかるいあさの ごあいさつ

おひさま あわててかおをだす  
たのしいな たのしいな

つくしのあさだよ おはよう♪  
聞こえますか？みんなの元気な声  
が届きましたか？

みんな元気ですよ 園長先生

私は昭和の終わり頃より平成の初  
め頃まで4年ほど、つくしの家で栗  
林先生と一緒に働かせていただきま  
した。今、懐かしく思い出します。

朝の会の後はパターンニングです。  
パターンニングは這い這いができない

子供さんに5人の職員が頭、両手、  
両足に手をそえて音楽に合わせて這  
い這いの形をします。ドーマン先生

の本から見つけみんな毎日行って  
います。と栗林先生に教えて頂きま  
した。

毎日、訓練だけ楽しく頑張れる  
そんなプログラムだったように思い  
ました。型はめ、お絵描き、マツト

倒し、ライト、感覚統合、リズム、  
お散歩などいろいろ工夫されていま  
した。ライト訓練は、みんなで暗い

部屋に入り一点の光を見ます。点が  
動いたり、形になった物が動いて目  
が離せなくなります。栗林先生がいろ  
いろ工夫して、しっかり見る事がで  
きました。

お散歩も楽しかったです。

♪ぎんが号に乗って旅に出よう……  
百馬力のエンジンは先生の足さ……♪



の歌のとおり、リヤカーに布団を敷  
き、ぎんが号の子供さんが乗りゴ  
ザとおやつを積み込み、松林を抜  
て海に行く日、町の中を歩いて川岸  
へ行くことも。大きい子供さんは車  
イス、にじさんは手をつなぎ歩いて  
行きました。もちろん百馬力のエン  
ジンは栗林先生の足です。  
栗林先生は子供さんたちの歌も作っ  
ていました。  
♪カナカナ加奈子さん加奈子さん：  
♪びよんびよんびよんびよん  
♪オシャレなオシャレな由衣ちゃんまよ  
今日ドレスも素敵だね！  
♪お手手に書いてよ象さん象さん象  
さん……博人君の歌です。  
リズムの時間には栗林先生のギターに  
合わせてマイクを持って前に出て歌  
います。楽しい毎日で元気をいただ  
きました。  
そして、25年ほどしたある日、福  
祉のイベント会場であつたりの出会  
いがありました。  
お陰さまで、今もつくしの家のボラ  
ンティアをさせていただいております。  
栗林先生、園長先生、全て栗林先生で  
す。  
(つくしの家 元職員)

# 「栗林均先生のこと」 櫻井治枝

私が栗林先生に初めてお会いした  
のは四十五年前、栗林先生が相良保  
育園に実習生として来られ担当させ  
ていただいた時です。その頃は男子  
学生さんの保育実習は珍しい時代だ  
つたので良く覚えています。この事  
を栗林先生と話そうと思っていなが  
らとうとう話すことが出来ず残念で  
なりません。

あの若き学生さんがつくしの家の  
施設長になり、社会福祉法人一羊会  
理事長に就任し沢山の子どもたちや  
保護者の方々そして職員の心を受け  
とめ導いてくれました。

相良保育園では栗林先生の姿が園  
庭に見えるとすぐに走って行って手  
をつなぐ子、「みてみて」とおしゃべ  
りを始める子等々。「栗林先生には子  
どもが大好きオーラが出ているよね  
きつと」と職員同士でいつも話をし  
ていました。

今年の春、「桜が見られましたよ」  
と嬉しそうに話してくれた栗林先生  
がいました。

数日後、法人許可時から引退され  
るまで一羊会で務められた事務長さ  
んが「栗林先生はね、私が算盤で計  
算したり手書きの書類を出していた  
時、デジタル化が進んで何も出来な  
くて困って栗林先生に相談すると全  
く嫌な顔をしないで書類を持ち帰り  
次の日には笑顔で届けてくれただよ  
その時は本当に嬉しかった。それか  
ら一羊会の為にずっと働いてくれた  
先生なんだよ。だからこれから先生  
の思い通りに働いてほしい。今の  
一羊会があるのも先生のおかげなん



(相良保育園 元園長)  
(社会福祉法人一羊会 監事)

だよ。それを皆に忘れないでいてほ  
しいだよ」と優しく熱く語ってくれ  
たのです。  
子どもたちが大好きでいつも寄り  
添ってくれていた栗林先生。人が喜  
ぶ顔が大好きでその為には努力を惜  
しまなかった栗林先生。沢山の工夫  
品に溢れた先生の手作り玩具や生活用  
品には驚きました。夏には保育園の  
大木の防虫作業もしてくれました。  
全て子どもたちの為、職員の為でし  
た。本当にありがたかったです。  
いつも栗林先生がつくしの家に居  
てくれることが当たり前と思いつ  
てばかりの私たちでした。栗林先生  
の誰をも温かく包んでくれた笑顔は  
出会った人が安心して前を向いて進め  
る一歩になりました。  
これからも栗林先生が続けて来ら  
れた「それぞれの施設の子どもたち  
や利用者さんの思いを大切に、周  
りの私たちも謙虚に寄り添って共に  
生きていくこと」を忘れません。あ  
りがとうございました。

## 「園長先生に支えられて」 小栗 朋子

園長先生、つくしの家での四十三年間の勤務本当にお疲れ様でした。いつも園長先生は、子ども第一に考え療育は勿論、家族、行政、子どもが真ん中にいてそれを支える人達がいい関係であり、いつもいつも細かな気配りをしてくれました。相談に行くと話をしつかりと聞いてくれ、優しく指導してくれたことはとても感謝しています。今でも園長室に行つて相談したい事がいっぱいあります。療育の方でも子どもの指導が難しい時はすぐみんなで話し合いをし、共通理解をするようにしたり、研修で園長先生がいろいろな資料を作りそれを園長先生の優しい声で読み、職員の内にもしつかり染み渡するように指導してくれました。

行政にも報告があればすぐに電話して情報交換をし、共有することを必ずやってくれました。つくしの園だよりもその一つです。園児・こぐま教室の子ども達の様子を知らせ「こんな事が出来るようになったよ」と報告していました。また園だよりは園長先生が毎月自分で配り、顔見で渡していました。「園だよりの文もとても心に残り自分を見直すことが出来たよ。」と愛読者の人達はいつもそう言ってくれました。いつかは本を出してほしかったです。

つくしの家の環境もそうです。「遊

具のここが危ないね。」と言えば園長先生は自ら修理してくれました。また、この子には「ここに手すりがあればいいな。」と担当が一言言えば次の日には出来上がっていました。だから、つくしの家には園長先生の手作りの物がたくさんあります。職員はとても感謝していました。園長先生が子どもの事を大切に思い愛してくれていたから、みんなが信頼してつくしの家に通つて来てくれたと思います。そんな心優しい園長先生と私は四十年間一緒に仕事が出来たことは、私の人生においてとても勉強になり財産になったと思います。本当にありがとうございました。

私が退職してからの二年間は体調の方も大変だったかと思いますが、園長先生が出勤し、子ども達から元気パワーをもらい生涯現役で頑張つてくれたと思います。本当に感謝！感謝！ありがとうございます。今でも園長先生が入院される前日に「つくしの家が大好きです」と言つた言葉は忘れません。残された職員一同は、園長先生の思いをしつかり受け継ぎ前を向いて頑張つてくれます。どうぞ天国から見守つていて下さいね。

(つくしの家 元主任保育士)



## つくしホームの全体活動紹介

### 製作活動

製作の時間は、友達の誕生カード作りや、つくしホームに心に留めて下さった方々に感謝の気持ちを込めて、「お令状」としてしおりや画用紙を台紙とした作品作り、翌年の干支を型押しやちぎり紙など毎年工夫してカレンダーを作っています。一月には書初めです。自由に色を選びその年の目標や好きな言葉を和紙にしたためます。みんな楽しく過ごせるように、笑顔いっぱい顔写真を飾つた作品を一年間展示します。その他にも氷を紙上で滑らせて絵を描く「氷アート」や松ぼっくりのクリスマスツリー等も作りました。題材や材料は同じでも一人一人違う個性があり、どの作品を見ても心がほっこりします。今は皆で来年の力レンダーを作っています。どんな作品になるのか楽しみです。

### 音楽活動

音楽では、音に親しみながら楽しめる活動を行っています。マイクを通して声を出すカラオケ、聞こえた音が何かを当てる音当て、好きな言葉や音にして表現するリズム打ちなど、様々な方法で音を感じています。音探しでは、楽器の代わりに身の周りのものを使い、いろいろな音を見つけて発表しました。季節の行事に合わせ、夏祭りでは盆踊り、クリスマス会に向けては手作りの楽器製作にも取り組んでいます。年度末にはグ

ループごとのリズム発表会を予定しています。音を通してみんなが笑顔になり、一人一人が主役として楽しめる時間を、これからも大切にしていきたいと思っています。

### 運動活動

運動部の三大イベントは、①水遊び②運動会 ③足浴です。イベント外では、全員での散歩、天候により室内運動を行っています。水遊びは酷暑の為、五・六月に前倒ししてシャワーやミストを浴びたり、シャボン玉を楽しんだりしています。十月は最大のイベント、運動会です。今年の競技は「いいものみつけた!」でした。トンネルをくぐつた先にはボールプールがあり、その中には職員手作りのオブジェの野菜や動物などが隠されています。プールから垂れているひもを引き上げ、そこにある物と同じ写真を見つけてます。最後に写真の裏のお題をやります。ヒゲダンスや動物の真似、歌をうたった運動会となりました。今回も笑いの絶えない活動を継続してゆきたいと思っています。

### 取扱金融機関のご案内

|              |               |          |
|--------------|---------------|----------|
| 三菱UFJ銀行静岡支店  | 普通            | 4254072  |
| 口座名          | つくしの家後援会      | (以下同じ)   |
| 静岡銀行相良支店     | 普通            | 145949   |
| 島田掛川信用金庫相良支店 | (旧島田信用金庫) 普通  | 134511   |
| 郵便振替         | 00820-5-57983 |          |
| 口座名          | 心身障害児通園施設     | つくしの家後援会 |

# つばき

## ◆つくしの家のあゆみ

五月 ◎引き渡し訓練を行い子ども達は津波避難タワーに避難、お家の方と一緒に帰りました。後日つくしホームと合同防災訓練では避難完了まで6分でした。引き続き訓練を行っています。

六月 ◎パレットさんのおはなし会、みんなとてもよく聞いていました。◎B&G体育館をお借りし今年もじゅんちゃん先生を講師に親子でレクリエーションを楽しみました。◎プール開き、暑さ指数により外に出る時間を調整して大好きな水遊びを楽しみました。

七月 ◎消防署と市の女性消防隊員の皆さんによる花火教室。DVD鑑賞後、実際に花火の安全な楽しみ方を教えてもらい、記念撮影では車に乗せて頂き大喜びでした。◎卒園児母の丸山さんと高橋さんが七夕ランチを作ってくれました。美味しかったです。午後は七夕会でゲーム等を楽しみました。◎コロナ禍の令和2年度から中止していた阿佐ヶ谷教会の皆さんのワークキャンプが久しぶりに再開。今回は一泊二日で子ども達との交流や大掃除・駐車場の草刈り等のワークをしていただきました。ありがとうございます。◎6月7月と一人ずつお友達が入園しました。賑やかになってきました。

八月 ◎つくし東館裏側駐車場の壁を市で補修してくださいました。◎星いきいき社会福祉財団様より冷蔵庫・トイレ用タオルカーペットをいただきました。大切にに使わせていただきます。

たきます。

九月 ◎つくしホームの小塚さん坂本さんが大きな器に特大レインボウかき水を作ってくれて、おやつに分けて食べました。◎お楽しみ会が台風十五号の影響で日程変更し、子ども達と職員で行いました。ゲーム・お店屋さんそして西館でテーマパークをいっぱい楽しみました。◎相良中学校2年生増田さん伊藤さんが職業体験で2日間来てくれて子ども達と沢山遊んでくれました。ありがとうございます。◎親子読書会さんによるお話し会がありました。いろいろなお話楽しかったです。

十月 ◎市の民生委員さんが園庭や駐車場花壇の草刈りをしてくださいました。また、年4回のお散歩交流がありがとうございます。◎B&G体育館で運動会を行いました。相良高校の生徒さん十名と久保田さん横山さん庄司先生渡邊先生がボランティアに来てくれました。ご家族の皆さんも沢山来てくれてとても賑やかな雰囲気の中、一人ひとりが輝いた運動会になりました。◎島田法人会相良支部の方々が奉仕作業に来てくださいました。ありがとうございます。◎ハロウィンイベントに市内の放デイいろいろなさんと矢崎部品のものづくりセンターの方々がそれぞれ来てくれました。プレゼントもありがとう。2日間とても楽しかったです。



## ◆つくしホームから

5月 ☆職員手作りの筍ごはん。旬の筍はとても美味しかったです。民生委員さん達と今年最初の散歩交流。☆保護者の皆さんが敷地内の草刈りをしてくださいました。☆つばめグループは母の日にカーネーションを作りました。

6月 ☆せせらぎグループが公園に出かけたり、水遊びで初夏を感じました。☆2回目の民生委員さん達との交流は、天候不順の為室内で久しぶりの輪投げを楽しみました。

7月 ☆七夕まつりは短冊にそれぞれの願いを書きました。この日は丸山さんと高橋さんが七夕パーティーのカレーを作ってくれて、おいしくいただきました。☆今年の夏祭りは6年ぶりに阿佐ヶ谷教会「地の塩会」の皆さんと一緒にゲームや歌、踊り等で楽しい時間を過ごしました。

8月 ☆雅人さんのお父さんが利用者さん達に食べて欲しいとシャインマスカットを育ててくれました。甘くてとっても美味しかったです。

9月 ☆希望さんと達也さんのお母さんが今年も「かき氷」を作ってくれました。冷たいかき氷は最高のおやつになりました。☆8月の食事は出前注文です。好きなメニューを選び、市内のお店から届けてもらい、皆大満足でした。☆職員で普通救命講習を受講。

10月 ☆民生委員さんたちが暑さの

## 編集後記

夕焼けが黄金色に染まり、日増しに早まる夕闇や窓を打つ北風、いつもの冬景色が今年は何故か心に染みえています。何度も感じていたはずの、何気ない日々が過ぎる事が当たり前ではないという事を痛感した年になりました。明日も同じ景色があるとは限らないという事を肝に銘じ、今日を大切に生きてゆきたいと思います。どうぞ良い年をお迎えくださいませ。

中草刈りをしてくださいました。中庭から駐車場までとてもきれいにしました。☆静岡福祉医療専門学校2年生2名が実習。優しく丁寧なかわりと明るい態度で接してくれました。☆民生委員さん達と散歩交流会。秋らしい風の中、川沿いをのんびり歩きました。今年度もたくさん交流する事が出来てよかったです。ありがとうございます。☆運動会。光紀さんの選手宣誓から競技が始まり、毎日練習した体操やパン食い競争(お菓子・ジュース取)等皆で盛り上げ、心を合わせた素敵な運動会になりました。☆お楽しみ会では収穫の秋にちなんだゲームを全員で楽しみました。☆島田法人会の皆さんが窓ガラスや網戸等を掃除してくれました。お忙しい中ありがとうございます。☆吉田特支高等部2年生1名実習。